

岡山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

出生後の呼吸状態が正期産相当時期の脳容積に与える影響

[研究責任者]

新生児科 医師 竹内 章人

[研究の背景]

早産児の慢性肺疾患はその後の発達の遅れのリスク因子になることが知られています。しかし、慢性肺疾患であることが新生児の脳にどのような影響を与えることによって発達への影響を及ぼすのかはまだ十分にはわかっていません。

[研究の目的]

慢性肺疾患であることによって、新生児の脳のどの部位が影響を受けるのかを明らかにすること

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2017年1月1日～2020年12月31日の期間に当院の新生児集中治療室(NICU)に入院した在胎期間22週0日～31週6日の早産児。

●研究期間

研究実施許可日から西暦2023年12月31日

●利用する検体、カルテ情報

- 1) 患者基本情報：生年月日、性別
- 2) 周産期情報：母の妊娠高血圧症候群、母の妊娠糖尿病または糖尿病合併、羊膜絨毛膜炎の有無（母の胎盤病理所見）、そのほかの母の合併症、分娩予定日、在胎期間、出生体重、出生時身長、出生時頭囲、性別、初産/経産、胎数、分娩方法、Apgar score (1min, 5min)、臍帯動脈血 pH、臍帯動脈血 BE、羊膜絨毛膜炎の有無
- 3) 児の合併症：敗血症の有無、呼吸窮迫症候群の有無、新生児一過性多呼吸の有無、入院中の人工呼吸管理の有無と方法・日数、酸素投与期間、症候性未熟児動脈管の有無、COX 阻害剤での動脈管治療の有無、動脈管結紮術の有無、壊死性腸炎

の有無、腸穿孔の有無、脳室内出血の有無とそのグレード、脳室周囲白質軟化症の有無、晚期循環不全の有無、慢性肺疾患の有無、重症慢性肺疾患の有無、慢性肺疾患のタイプ、治療を要した未熟児網膜症の有無、受胎後 38 週 0 日での母乳哺育量 (ml/kg/day)、受胎後 38 週 0 日での身長・体重・頭囲、ABR 異常の有無

4) MRI 撮像情報：MRI 撮像日、TE 値、TR 値、Flip angle 値

5) MRI データ：T2 強調 3D volume 撮像データ

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

国立病院機構岡山医療センター 新生児科 竹内 章人  
電話 086-294-9911 (代表)